



毎日のお仕事お疲れ様です。生育は依然として昨年比 7 日程度進んでおり、果実の養分競合も一層激しさをましています。今年は特に早め早めの意識のなかで管理作業を進めてください！尚、天敵であるハダニ類の早期発生することが心配されます。梅雨明け後の多発状態を招く前に早期抑制対策を講じてください。（詳しくは果樹特報 No6 をお読みください。）

## りんご青空教室 2018

毎年恒例の青空教室を計画しました。内容は基本的な事項が中心となります。ご近所、お仲間お誘い合わせのうえ多数の皆様の参加をお願いします。女性・若手生産者の皆様の参加を大歓迎します！

### 1. 開催概要

月日	集合時間	集合	会場
6 月 15 日（金）	午前 11 時	日野事業所	間山 牧野貢氏園
6 月 18 日（月）	午前 11 時	高丘事業所	草間 金井正文氏園
6 月 19 日（火）	午前 11 時	高社共選所	越 田村良行氏園
6 月 19 日（火）	午後 1 時 30 分	倭集荷所	柳沢 町田伊知郎氏園

### 2. 内容

- ① ふじの仕上げ摘果方法 ⇒ 30 cm に 1 果を目安に適正に置きましょう！
- ② 青玉・光玉除去のポイント ⇒ 果台が異常に長いところになっている果実はかなりの確率で青玉？
- ③ 夏の何でも相談会 ⇒ 気になることはこの際に！

## ハダニ類の特性・殺ダニ剤散布時の注意点

	リンゴハダニ	ナミハダニ
越冬	リンゴ樹上の芽基部や皮のくぼみに産まれた卵で越冬	雌成虫が粗皮下や雑草等で越冬 越冬成虫はあざやかな朱色
春先	4 月中旬から孵化を始め、開花直前には終了し、夏卵を産む	3 月に入ると越冬場所から移動するが、りんご樹上では春先に多発することはない。
発消長	6 月中下旬から増加し、ピークは 7 月中旬～8 月上旬で、その後ナミハダニが増加すると一時的に密度が低下する。	発生ピークは 8 月中下旬頃であるが、早い時期は 7 月下旬、遅い時期は 10 月になる場合があり変動は大きい。

上記の特性を理解して、薬剤散布と並行して粗皮削りや下草刈り等耕種的防除も含めた総合的な対策が必要です。また、殺ダニ剤を散布しても、薬剤が園全体に到達しないと効果を発現しません。よって、殺ダニ剤散布時は、以下の点を意識してください。

- ① 樹幹内部まで十分に薬剤が到達するように殺ダニ剤散布前には徒長枝切りや枝つりを敢行する。
- ② 殺ダニ剤の効果を高めるため、散布 3～4 日前には下草除草を行う。
- ③ 散布死角がないよう散布量は多めに設定する。（10 a 当り 500～600 ㍓㍓）
- ④ 殺ダニ剤は抵抗性出現を考慮して、同一薬剤及び同一系統は年 1 回だけの使用とする。

次頁もお読みください。（もも講習会開催のお知らせ他）

基本的な栽培技術の確認を目的として、下記により講習会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

期 日	集合時間	集合場所
6月15日(金)	午後1時30分	南部共選所

●内 容

- ① 「着果量」 「夏季管理」 について
- ② 「もも果実袋の種類」 「正しい袋かけのやり方」 について  
( 講 師 : 果実袋メーカー (株) 小林製袋 )

●参集範囲

- ・ 新規 栽培者 (就農から概ね3年程度まで)
- ・ 若手 栽培者
- ・ 女性 栽培者

以上

## 『ももの2重袋』リピーター増加

価格は1枚 約5.5円で「高い」と言われますが、、 本年、JA助成事業により20%の助成を実施します

メリット① 除袋作業が早い!

メリット② 除袋後も果実を守ってくれる! ⇒ 品質が安定し秀品率UP↑ ⇒ 最終的に所得UPへ↑

晩生品種中心に、まずはお試してください。⇒品名「Yピーチ22号TPLミニ12」(I切、V切)100枚単位で販売中

除袋前 (白:内袋、茶色:外袋)



除袋すると内紙が収穫時まで傘のように残ります



お問合せ先: 園芸課・技術担当 (23-3933)